

令和6年度 八幡西区リハビリテーション連絡協議会 活動報告書

項 目	内 容	備考
組織構成	会 長：内田健 PT（所属：やはた訪問看護ステーション） 副会長：清原綾子 ST（所属：新王子病院） 運営委員：13名（役員含む全体数） ※別紙名簿添付	
活動方針（テーマ）	・ネットワークの構築（リハ職種間・多職種間） ・リハビリテーション啓発活動（地域へ・多職種へ） ・人材育成	
年度目標	地域資源の発掘（対面でのフォーラム開催）	
活動実績	①運営会議（4回） ②運営会議以外の会議（例：部会会議など）（8回） ③他機関（他部署）が主催する 委員会や委員が出席した会議（0回）	会議名：
	④研修会（2回）	職種：リハ職、介護職 内容：リハケア合同勉強会 （リハビリテーションとケアの協同） 場所：コムシティ 大会議室 開催日時：R6.7.19 開催方法：対面方式 参加者数：44名 （運営事務局含む）
		職種：リハ職 内容：フォーラム（情報共有） （伝えたい・欲しい情報のギャップ） 場所：コムシティ 大会議室 開催日時：R7.2.14 開催方法：対面方式 参加者数：35名 （運営事務局含む）
	⑤交流会（1回）	職種：リハ職 内容：名刺交換会 （報酬改定後の対応について） 場所：コムシティ 大会議室 開催日時：R6.12.6 開催方法：対面方式 参加者数：31名 （運営事務局含む）
	⑥講師、 委員派遣（0回）	内容： 派遣先： 日時： 対象者数：
	⑦作成物	内容（タイトル）：八幡西区リハビリテーションマップ 配布先：登録医療機関、市民センターなど 作成部数（紙の場合）：500部 媒体：JPEG
		内容（タイトル）：広報誌第7号 配布先：北九州市ホームページ掲載 媒体：Word
		内容（タイトル）：広報誌第8号 配布先：北九州市ホームページ掲載 媒体：Word
合同勉強会への参加	参加者数（6人）	
活動成果	令和6年度の年間計画として掲げていた研修会（2回）、名刺交換会及びリハビリテーションマップの改定を行うことができた。	
次年度の課題	リハリハ連携の強化を図ることを目的とした内容を企画する。また、リハ合同勉強会の担当区になるため、勉強会チームを作り調整を行う。	

令和6年度 八幡西区リハビリテーション連絡協議会
運営委員名簿

R6.4

氏名		所属	職種	部	備考
会長	内田 健	やはた訪問看護ステーション	理学療法士	広報／地域	
副会長	清原 綾子	新王子病院	言語聴覚士	学術	
1	井手 陽	東筑病院	理学療法士	学術	
2	芳賀 公平	西田医院 湧水館	理学療法士	地域	
3	畑 聡一郎	東筑病院	言語聴覚士	地域	
4	溝上 拓也	JCHO九州病院	理学療法士	学術	
5	畑田 義徳	ケアサポート木輪館	理学療法士	地域	
6	小林 祐輝	東筑病院	作業療法士	学術	
7	河合 奈名子	産業医科大学病院	作業療法士	学術	
8	外矢 浩次	しんわ苑	理学療法士	学術	
9	國米 寿聡	大平メディカルケア病院	作業療法士	地域	
10	金崎 千晶	ハートケアぽっぽスマイル	理学療法士	学術	R6.4から
11	梶原 一郎太	放課後等デイサービス みつは八幡西	理学療法士		R6.4から

(支援センター)

	志田 啓太郎	戸畑リハビリテーション病院	理学療法士
--	--------	---------------	-------

(事務局)

係長	牧村 あずさ	八幡西区役所 保健福祉課	理学療法士
	和氣 祐希	八幡西区役所 保健福祉課	作業療法士

(事業主管課：地域リハビリテーション推進課)

係長	佐藤 美香	地域リハビリテーション推進課	作業療法士
	金澤 紀子	地域リハビリテーション推進課	理学療法士
	武田 良太	地域リハビリテーション推進課	理学療法士

令和 6 年度八幡西区リハビリテーション連絡協議会リハケア合同勉強会まとめ

開催日:令和 6 年 7 月19 日(金)18:30~20:00

開催場所:コムシティ 3 階 大会議室

参加者:44名(講師 2 名除く 別紙のとおり)

1.当日プログラム

【テーマ】

リハビリテーションとケアの協働 ～お互いが助け合い、【楽】になる支援を目指して～

時間	内容	担当者	
18:30～ (5 分)	開会 八幡西区リハ協の活動紹介	内田会長	司会 (溝上)
18:35～18:45 (10 分)	リハ職と介護職で連携した事例について【講演】	志田 PT 山内介護福祉士	
18:45～19:00 (15 分)	【パネルディスカッション】		
19:00～19:05 (5 分)	【質疑応答】		
19:05～19:45 (40 分)	グループワーク	終了 10 分前お知らせ (リハ課)	
19:45～19:55	(感想、気づいたことなどの)発表	志田 PT 山内介護福祉士	司会 (溝上)
19:55～20:00	閉会あいさつ	清原副会長	

2. 内容

(1)講演

同法人内で生活機能向上連携加算を利用し連携した腰部脊柱管狭窄症の事例を報告いただいた。リハ職、介護職の専門性やお互いが大事にしている視点を共有し、グループワークにつないだ。質問ではどの程度利用者がいるか、負担額はどの程度か等が挙がった。

(2)グループワーク

3 グループに分かれ、実技や他職種の連携について意見交換を行った。

① グループ	参加者へ「現在困っていること、他職種と連携したこと、(ケアマネへ)生活機能向上連携加算を算定した経験」や <u>入浴、送り出し</u> 場面で困ったことについて意見交換した
② グループ	<u>移乗動作</u> のよくある事例で実演し、自分や対象者の体に負担をかけないために、座位の基本姿勢(ポジショニング)の重要性の再確認とリハ職の視点について助言した。その後介護職から気になる点等を意見交換した
③ グループ	リハ職以外へ「困っている場面」などを確認した。その後、 <u>入浴場面の更衣</u> 事例を提供し意見交換した。

【グループワーク後に出た意見】

- ・ヘルパーと連携取ることが少なかった。訪問でノートに記録するがタイムリーではなく、動画や写真等の共有が有効だと思った。
- ・同事業所内なら連携しやすいが他事業は難しい。訪問先で食事動作や整容動作をヘルパーから教えてもらうことで、実際どうしているか知ることが大切だと知った。
- ・いかに利用者と自分もが楽に介護できるかは座位の基本姿勢(ポジショニング)が大事。残存機能をどう見極めるか介護職には難しい。下肢の屈曲拘縮がある方や体重のある方には2人介助できる体制があるとありがたい。
- ・介護職は人材不足でできることをしている。自立に向けて、本人の意欲を出すことの声かけのコツがあるといいと思う。誰のための目標か？共有できていない。
- ・いろんな職種で考え方が違ったことが発見だった。介護職は安全第一。それぞれ専門職が何を大切にするか共有していきたい。

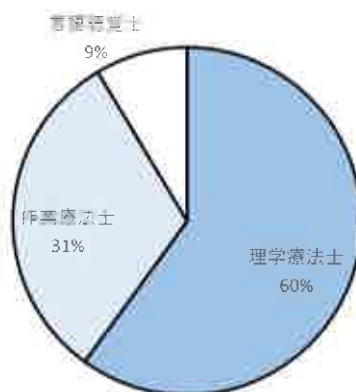
令和6年度八幡西区リハビリテーション連絡協議会フォーラム まとめ

令和7年2月14日(金)19:00～20:30

コムシティ3階大会議室

【参加数】 (単位:人)

職種	人数
理学療法士	21
作業療法士	11
言語聴覚士	3
総計	35



【当日スケジュール(役割)及び内容】

テーマ:情報共有ってどうしてる?～伝えたい情報と欲しい情報のギャップを埋めよう!～

時間	内容	担当・講師等
19:00～	開会	司会(金崎)
19:00～ (約10分)	八幡西区リハ協活動紹介 最新リハマップ紹介(資料配布)	内田会長
19:10～ (約30分)	<話題提供>各施設における情報共有の取組 (1)産医大病院(急性期) (2)東筑病院(回復期) (3)しんわ苑(生活期・老健) (4)新王子病院(生活期・通所)	(企画チーム) 河合さん 松尾さん 外矢さん 清原さん
19:40～ (約40分)	<グループワーク+発表> ※意見交換の内容 ①添書のどこを見ているのか ②添書のどこに注意して書いているのか ③困っていること、悩んでいること ④工夫していること	司会:小林さん ファシリ:学術部委員
20:15～ (約10分)	<情報提供>退院時共同指導加算およびリハ計画書に関する情報提供	溝上さん
20:25	閉会	



写真① 話題提供(老健報告)



写真② 会場様子



写真③ 発表

グループワークで出た意見

- 評価の内容だけでなく、対象者の性格やキャラクター、接するうえで気を付けたほうが良いことなども情報としてあると嬉しい。
- リスク管理やプログラムの内容・回数など具体的な情報があるとたすかる。
- 情報提供書にもっと沢山書きたいけれど、枠の制限などもあり送れていないのが悩み。
- 情報の送り手として気を付けていることは、言葉選びを気を付けたり、簡潔にしたりして、だれが見ても分かるようにしている。
- グループワークを通して様々なステージで働いている方の意見交換ができて、こういった情報があるのか、こういった情報が欲しいのかギャップを少しは埋められたように感じる。

令和6年度八幡西区リハビリテーション連絡協議会 名刺交換会まとめ

開催日: 令和6年12月6日(金)19:00～20:00

開催場所: コムシティ 3 階 大会議室

参加者: 31名(一般: 26名、運営委員: 5名 別紙のとおり)

1. 当日プログラム

【テーマ】

報酬改定から約半年…皆さんどう対応していますか？

～他の機関に聞いてみたい、意見交換してみたいことはありませんか～

時間	内容	司会進行
19:00～(5分)	開会あいさつ	内田会長
19:05～19:30(25分)	名刺交換・意見交換会①(グループ)	
19:30～19:55(25分)	名刺交換・意見交換会②(フリー)	
19:55～20:00(5分)	閉会あいさつ	畑田さん

2. 内容

(1) 名刺交換・意見交換会①(グループ)

4つのグループ(医療、障害、通所・施設、訪問)に分かれ、名刺交換を行った。

(2) 名刺交換・意見交換会②(フリー)

グループ内のみではなく、他のグループの方や意見交換をしたい方と名刺交換を行った。

3. アンケート結果

回答者数 28名(回答率 90.3%)

問1 (1) 満足度

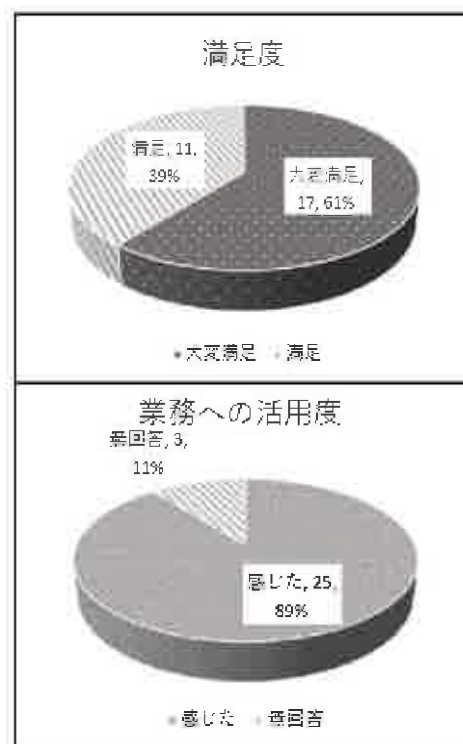
満足度	人数
大変満足	17
満足	11

問1 (2-1) 目的の達成度

目的の達成度	人数
できた	28

問1 (2-2) 業務への活用度

業務への活用度	人数
感じた	25
無回答	3

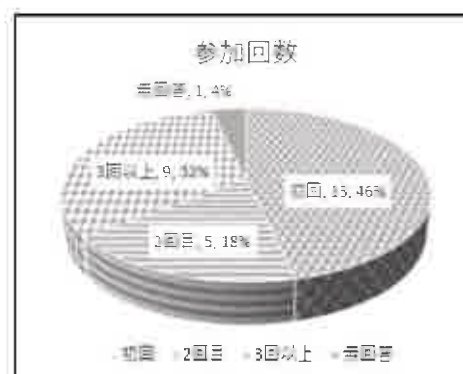


問1 (3) (1)～(2)に回答した理由

- ・LIFE のことで情報を得ることができた。施設同士のつながりができた。リハ以外の事について、有意義に話が出来たと思う。近隣施設のリハ職の方とあいさつができた。
- ・他各事業所の取り組みを理解することが出来た。業務形態や実務に直結する話ができ良かった。他ステーションのリアルな悩みが聞けた。また、新たな取り組み内容も聞けた。
- ・同じ分野の方と意見交換が出来た。密に話をする事が出来た。

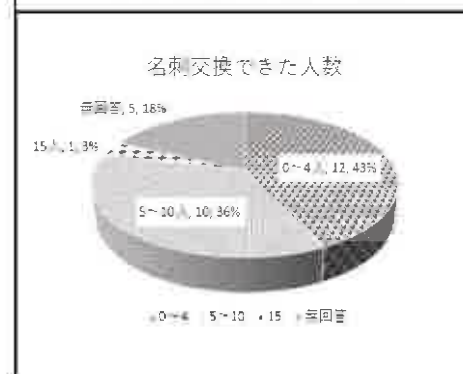
問1 (4-1)名刺交換会の参加回数

参加回数	人数
初回	13
2回目	5
3回以上	9
無回答	1



問1 (4-2)名刺交換できた人数

名刺交換できた人数	人数
0～4人	12
5～10人	10
15人	1
無回答	5



問2 参加者からの意見(どのような企画が必要、こんな企画なら参加したと思うこと)

- ・分野別に集まって、よりその分野に特化した勉強会や意見交換の場が欲しい。
- ・他職種や他施設との連携。
- ・営業について。

リハビリテーションマップ

リハビリテーションマップとは
リハビリ専門職がいる身近な施設が
「わかる・さがせる」ことを目的に作成したものです。

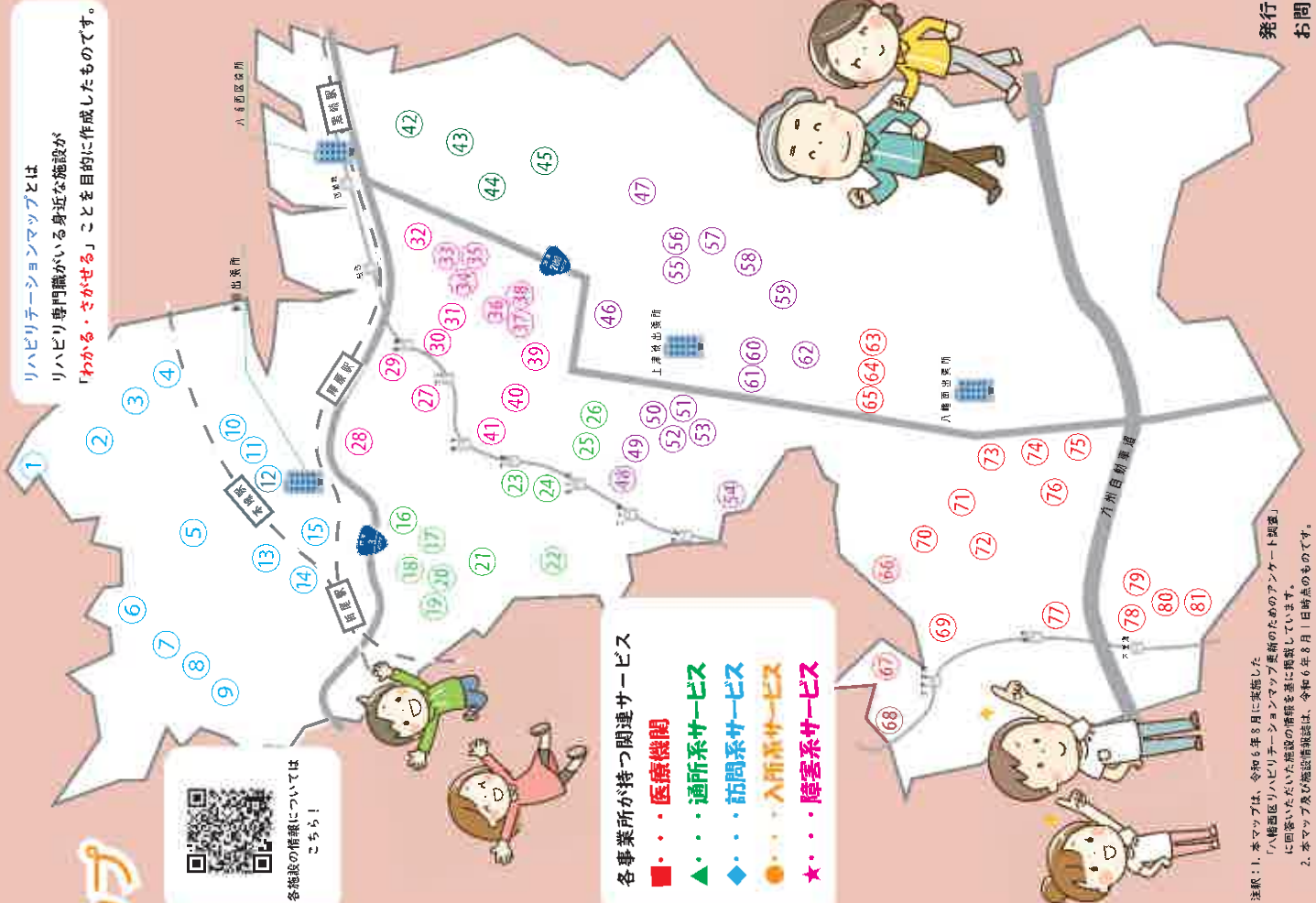
- ① 北九州第四あゆみ通所施設 ★
- ② 特別養護老人ホーム 風の家 ●
- ③ CAMP ★
- ④ アップルハート訪問看護ステーション八幡山 ◆
- ⑤ 産業医科大学病院 ■
- ⑥ 前川整形外科医院 ■
- ⑦ 訪問看護ステーション ぽっぽスマイル ◆
- ⑧ だんだんデイサービス ▲
- ⑨ いさやま整形外科医院 ■
- ⑩ サポートセンター本城 ▲
- ⑪ 北九州第二あゆみ通所施設 ★
- ⑫ 介護老人保健施設 宗寿苑 ▲
- ⑬ TENT ★
- ⑭ デイサービス 春の音 ★
- ⑮ 訪問看護ステーション プーランド折尾 ◆
- ⑯ 特別養護老人ホーム サン・グリーンホーム ●
- ⑰ 済生会訪問看護ステーション ひまわり ◆
- ⑱ 福岡県済生会八幡総合病院 ■
- ⑲ 訪問看護ステーション なずな ◆
- ⑳ 東筑病院 ■
- ㉑ 正和中央病院 ■
- ㉒ デイサービス 輪台庭 ▲
- ㉓ 八幡厚生病院 ■
- ㉔ 介護老人保健施設 ナーシングセンター八幡 ●
- ㉕ 桜クリニック ■
- ㉖ 桜倶楽部 ▲
- ㉗ 青山整形外科医院 ■
- ㉘ みつは穴生 ★
- ㉙ 萩原中央病院 ■
- ㉚ 年長者の里 訪問看護ステーション穴生 ◆
- ㉛ 穴生デイサービスセンター ▲
- ㉜ ラ・ポルトブルー ▲
- ㉝ 正和なみき病院 ■
- ㉞ 正和なみき病院 ■
- ㉟ ラ・フォンテーヌ ▲
- ㊱ 南王子さくら館 ●
- ㊲ ファーストライフ青山訪問看護ステーション ◆
- ㊳ マーブル ★
- ㊴ 新王子病院 ■
- ㊵ 子ども未来サポートルーム EL ★



各施設の情報については
こちら！

各事業所が持つ関連サービス

- ・・・医療機関
- ▲・・・通所サービス
- ◆・・・訪問サービス
- ・・・入所サービス
- ★・・・障害サービス



注釈：1. 本マップは、令和6年8月に実施した
「八幡区リハビリテーションマップ策定のためのアンケート調査」
に回答いただいた施設の情報に基づき作成しています。
2. 本マップ及び施設情報は、令和6年8月1日時点のものです。

- ① 介護老人保健施設 翡翠苑 ▲
- ② ごえん黒崎 ★
- ③ 神原クリニック ▲
- ④ 黒崎松快園デイサービスセンター 和泉の里 ▲
- ⑤ JCHO 九州病院 ■
- ⑥ aka ★
- ⑦ リーベ訪問看護ステーション ◆
- ⑧ 新生会地域デイサービスセンター ▲
- ⑨ 新生会病院 ■
- ⑩ みつは八幡丘 ★
- ⑪ 訪問看護ステーション木輪館 ◆
- ⑫ 木花家 ▲
- ⑬ ログハウス ▲
- ⑭ 介護老人保健施設 サンフラワーズ北九州 ▲
- ⑮ ピッコロ ★
- ⑯ ポコ・ア・ポコ ★
- ⑰ 特別養護老人ホーム 愛敬苑 ●
- ⑱ 介護老人保健施設 ひまわり ▲
- ⑲ いろは訪問看護ステーション ◆
- ㉑ 大平メディカルケア病院 ■
- ㉒ やはた訪問看護ステーション ◆
- ㉓ 充実生活コミュニティ ゆめりんご ▲
- ㉔ はしぐち整形外科医院 ■
- ㉕ 介護予防センター ビーバランス ▲
- ㉖ 訪問看護ステーション きのことハウス ◆
- ㉗ リハビリホーム 樹の社 ▲
- ㉘ リハビリデイサービス 元気 ▲
- ㉙ 訪問看護リハビリテーション プーランド折尾 ◆
- ㉚ 介護老人保健施設 香月の社 ▲
- ㉛ 佐々木病院 ■
- ㉜ 訪問看護キュア ◆
- ㉝ Smile Life NATURAL ▲
- ㉞ リハビリデイサービス 出合い茶屋の原 ▲
- ㉟ デイサービスセンター こがねわし ▲
- ㊱ 訪問看護ステーション こがねわし ◆
- ㊲ 介護老人保健施設 しんわ苑 ▲
- ㊳ 八幡慈恵病院 ■
- ㊴ 湧水館 リハビリセンター野面 ▲
- ㊵ 湧水館通所リハビリテーション ▲
- ㊶ きゆ訪問看護ステーション ◆

発行元 八幡西区リハビリテーション連絡協議会
お問合せ 八幡西区役所 保健福祉課 (TEL：093-642-1445)

八幡西区

リハビリテーション 連絡協議会だより

第7号

令和6年9月



リハケア合同勉強会
の様子



○開催日：令和6年7月19日 ○参加人数：44名（運営委員含む）
戸畑リハビリテーション病院の志田啓太郎さん（理学療法士）とサンセリテ
明治町の山内孝太さん（介護福祉士）を講師にお招きして開催いたしました。

「生活機能向上連携加算」を利用してリハビリテーション専門職（以下、リ
ハ専門職）と介護職が連携して対応した事例を紹介していただき、お互いの専
門性や大切にしている視点を共有することができました。

後半はグループに分かれ、患者さんの支援をする際の悩みや困りごとについ
て意見交換を行いました。普段、関わりのない他施設の人と話をすることで新
たな気づきを得ることができた方もいたようです。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

イベント情報

- ・名刺交換会
- ・フォーラム

八幡西区内のリハ専門職同士や他職種の交流を深めるためにいく
つかイベントを企画しています。患者様・利用者様の支援のため、情
報交換ができる関係性づくりとして、ぜひお気軽にご参加ください♪



八幡西区

リハビリテーション連絡協議会って…？

八幡西区リハビリテーション連絡協議会は、八幡西区内の医療、介護、福祉などの現場で働くリハ専門職が行政と協力し活動をする団体です。よりよいリハビリテーションサービスを提供することができるよう、施設や職種を超えた連携、情報共有、技術向上などに取り組んでいます。

具体的な活動内容として、運営会議やフォーラムの開催、地域資源情報の発信、リハビリテーションマップの作成などをおこなっています。

八幡西区のリハ専門職として「地域のために何ができるか」を一緒に考え、みんなで八幡西区を元気の街にしていきませんか？興味がある方・気になった方はぜひご連絡ください！

☆活動方針☆

ネットワークの構築
(リハ職種間・多職種間)

リハビリテーション
啓発活動
(地域へ・多職種へ)

人材育成

運営委員の所属施設と職種

やはた訪問看護ステーション

PT

新王子病院

ST

東筑病院

PT・OT・ST

西田医院 湧水館

PT

JCHO 九州病院

PT

ケアサポート木輪館

PT

産業医科大学病院

OT

しんわ苑

PT

大平メディカルケア病院

OT

訪問看護ステーションぽっぽスマイル

PT

放課後等デイサービス みつは八幡西

PT

バックナンバーは市 HP に掲載しています。
ぜひチェックしてください。
これまでの活動も掲載しています。



HPへは
こちらから

運営委員が独自で作成しているアカウントもありますので、
ぜひそちらもフォローしてください！



発行元：八幡西区リハビリテーション連絡協議会

連絡先：事務局（八幡西区役所保健福祉課） ☎ 0 9 3 - 6 4 2 - 1 4 4 5

リハビリテーション 連絡協議会だより

第8号

令和7年3月

発行元：八幡西区
リハビリテーション連絡協議会

連絡先：八幡西区役所保健福祉課
☎093-642-1445



【発表者】

- ・産業医科大学病院…河合さん (OT)
- ・東筑病院……………松尾さん (PT)
- ・しんわ苑……………外矢さん (PT)
- ・新王子病院……………清原さん (ST)

発表していただいた皆様、
ありがとうございました！

フォーラム の様子



○開催日：令和7年2月14日 ○参加人数：35名（運営委員含む）

八幡西区内で働くリハビリテーション専門職（以下、リハ職）同士の連携を目的としてフォーラムを開催いたしました。「情報共有ってどうしてる？～伝えたい情報と欲しい情報のギャップを埋めよう！～」をテーマとして、リハビリテーション連絡協議会の運営委員を中心に、総合計画書の書き方や何を伝えようとしているかなどを発表していただきました。その後はグループに分かれ、それぞれの抱えている情報提供に関する悩みについて意見交換を行いました。病期（急性期・回復期・生活期等）や業務形態（入院・通所・入所等）によっても伝えたい情報や欲しい情報が異なるようで、活発な意見交換が行われていました。情報を伝える側と受け取る側、双方の困りごとを共有し、顔の見える関係性を築いていくことこそが、情報共有の近道なのかもしれませんね。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

新 八幡西区リハビリテーションマップ 完成しました!!

八幡西区内のリハ職が在籍する施設・病院などを掲載したリハビリテーションマップが、この度、更新されました！嬉しいことに、掲載施設も増えています。より一層、連携に役立てていただけると嬉しいです。

施設の詳細な情報については「施設情報誌」をご覧ください（右のQRコード）。



「フォーラム」のアンケート結果（一部抜粋）

回答率 94%

※参加者のうち本庁課行政職員を除く

■参加者情報

○職種

参加職種	人数
理学療法士	19
作業療法士	11
言語聴覚士	3
合計	33

○所属

所属	回答数
病院系	19
訪問系	12
通所系	6
入所系	2
障害児通所	2

アンケートでも「伝えたい情報と欲しい情報にギャップがあることが分かった」という意見が多くありました。

今回のフォーラムではお互いの悩みを共有できた方も多くいらっしゃっているのではないのでしょうか。少しでも今後の情報提供資料の作成に役立てていただけると嬉しいです。

■フォーラムの内容について

○満足度

活用度	回答数
満足	32
どちらともいえない	1

○活用度

活用度	回答数
活用できる	33

【活用できると答えた理由】

- ・情報提供書を書く際に何を伝えるべきか明確になった。
- ・それぞれの所属で重要な点や重視する点の違い、どんなことを記載すれば良いか勉強になった。
- ・送り手と貰い手が必要と感じている内容にギャップがある事に気づけた。

■リハ情報提供書の作成について

○情報提供書資料作成件数

（平均 8.35 枚）

平均枚数	回答数
0 枚（書かない）	4
1～5枚	15
6～10枚	4
11～15枚	4
16～20枚	3
21～25枚	1
未記入	2

○情報提供資料作成時間

（平均 20.8 分）

平均時間	回答数
10分以内	6
15分以内	6
20分以内	5
30分以内	8
60分以内	2

○作成時間帯

時間帯	回答数
業務時間外	9
業務時間内	10
業務時間内、時間外どちらもある	7
未記入	1

○作成時の工夫

病院系	・簡素に必要な情報のみ記載する（急性期） ・変化点を記載する 復職が必要な対象者には該当する評価結果を記載する。目標を記載する ・患者のキャラクター、リハビリに意欲的かどうか ・介入初期にまず作成する ・時系列にあわせ、出来る限り患者の状態がイメージしやすいように書くこと
通所系	・リハ職以外の方にも分かりやすいよう専門用語をなるべく使用しない。文章が長くなりすぎないようにしている ・生活場面につながるような目標設定やプログラムにするようにしている
訪問系	・在宅での生活状況や使用している福祉用具・住環境。本人様が大事にしていること ・悪化して急性期へ送る事が多いため、悪化の経過を中心に記載している

Instagram
やってます！



運営委員が独自で作成しているInstagramです♪

イベントの情報や所属施設の紹介など様々な情報を発信していますのでぜひ、こちらをご覧ください！

Follow me!

八幡西区リハビリテーション連絡協議会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、「八幡西区リハビリテーション連絡協議会」と称する。

(目的)

第2条 本会は、高齢者や障害者が、できる限り住み慣れた地域でいきいきと生活を続けることができるよう、保健・医療・福祉に従事する関係者が密接に連携して、地域住民に対して、より効率的・効果的なサービスを提供するために必要な支援を行うための仕組みづくりを行うことを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 在宅生活を支援するための手法に関する事項
- (2) リハビリテーションの普及、啓発に関する事項
- (3) 関係団体との連携交流に関する事項
- (4) 各種地域活動への参加に関する事項
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第2章 組 織

(会員)

第4条 本会の会員は、八幡西区の保健・福祉・医療分野に従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等で、本会の趣旨、目的に賛同した者をもって組織する。

(守秘義務)

第5条 会員は、活動を通じて知り得た職務上の秘密、個人情報について、他に漏洩し、または他の目的に利用してはならない。

(役員)

第6条 本会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長1名
- (2) 副会長2名

2 前項に掲げる役員は、運営委員の互選により定める。

(役員の職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠により選任された役員の任期は前任者（又は現任者）の残任期間とする。

第3章 運営体制

(運営委員会)

第9条 第4条に掲げる事業を企画・運営するために運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は、会長、副会長、運営委員をもって構成し、会長が召集する。
- 3 前項に規定する運営委員は20名以内とし、会員の中から選出する。

(部会)

第10条 会長は、必要に応じて運営委員会の下に部会を設置することができる。

- 2 部会は、運営委員会において選出した者をもって構成する。

(会則の変更)

第11条 会則の変更は、会員がこれを発議し、運営委員会の議を経て、総会の議決をもって行う

(事務局)

第12条 本会の事務局は、「八幡西区役所保健福祉課」に置く。

第4章 雑 則

(委任)

第13条 この会則に定めるもののほか、本会の運営について必要な事項は、運営委員会の議決を経て別に定める。

附 則 本会則は、平成19年8月1日から施行する。

附 則 本会則は、平成30年4月1日から施行する。